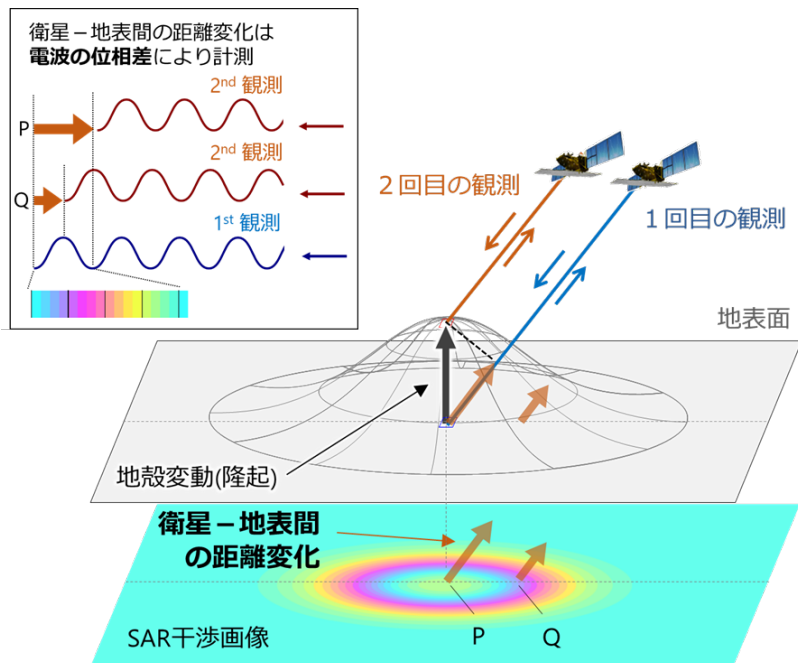


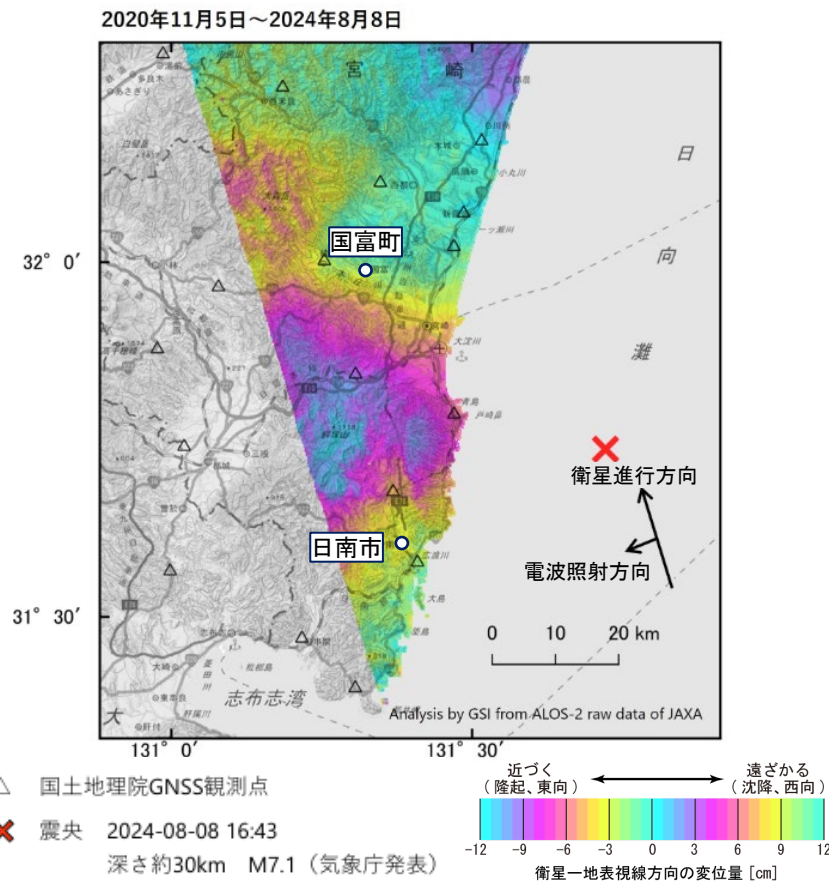
概要 要：令和6年8月8日に発生した日向灘を震源とする地震の発災翌日に、宮崎県沿岸部で地殻変動を検出した。
これらの解析結果を関係機関に提供するとともにHPにおいて公表した。

府省庁名：国土交通省

- 実施主体：国土交通省国土地理院
- 事業概要：大規模な地震・火山災害発生に備え、SAR衛星データ等の活用・強化により、全国の陸域の地殻変動の監視を継続的に実施、災害発生時には地殻変動情報を速やかに関係機関へ提供する。
- 事業費：2.3億円の内数
- 災害の外力、被害と効果：宮崎県南部では、地震により負傷者が出るなどの被害が発生（最大震度6弱）



SAR衛星データを用いた地殻変動の観測手法
衛星と地表面の距離の変化が色調のパターンとして得られる



色調のパターンが、衛星と地表面の距離の変化を表す。国富町から日南市北部にかけて、水色→黄色→紫色の変化が見られるため、衛星に近づく変動(隆起または東向き)が生じたことがわかる。

▶ 地殻変動の解析結果を、地震発生の翌日に地震調査委員会等へ提供し、当該地震に関する評価に活用された